

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	73	学校名	仙台市立沖野東小学校	校長名	大友 英之
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトルテーマ

- ◎学童農園の活用
- ◎環境を守るために自分たちにできることを考えよう



2 取組の紹介

【(1) 4年生の取組(理科の学習)】

4年生の学習では、季節とともに変わる気温の変化によってどのように植物や動物の様子が変わっていくのかを一年間学習してきました。中でもヘチマは種植えから水やりまでを行い、一年間を通して観察してきました。中でもヘチマの観察と水やりを継続し夏には大きな実がなったので、「ヘチマたわし」を作りました。自分達で育てた植物がまた別な物として生まれ変わり、有効活用できる素晴らしさと物のありがたさを感じることができました。



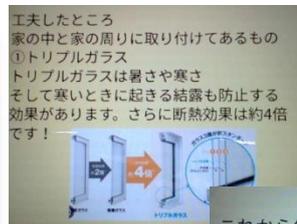
『ヘチマたわし制作』

【(2) 学童農園での観察】

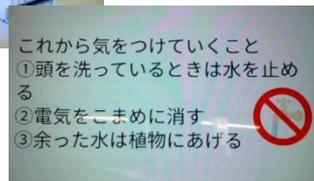
沖野東小学校の学童農園では色々な作物を栽培しています。1年生はアサガオ, 2年生はミニトマトやキュウリ, 3年生はダイズとオクラ, 4年生はヘチマ, 6年生はジャガイモ, 3・6年生でハウセンカ, 特別支援学級ではジャガイモやサツマイモなどを栽培しました。生活科, 理科, 特別支援学級では生活単元学習などと関連を図りながら, 児童らが十分に土壌や作物と関わる時間が取れるように各学年で配慮しています。なかなか教室に入れぬ児童が自主的に苗を植え, 水やりに行く姿も見られるようになるなど, 多くの児童が自然と興味を持ってお世話や観察をしているのが印象的です。また, 特別支援学級の児童は, 収穫したサツマイモをお世話になった先生に届けに行く様子も見られ, 学童農園を活用した活動が感謝を伝えることにもつなげることができました。



【環境委員会 地域清掃】



【5年生 SDGsの家づくり】
(発表のスライド)



【4年生 ヘチマの観察】

3 取組の成果(児童生徒の変容)

5年生は, 総合の時間では『SDGsについて意識した家づくり』について考えました。環境に良い素材や再利用できる材料を用いることに加え, 実際に住む自分たちが環境のためにできる行動についても考えることができました。また, 4年生の『ヘチマたわし作り』の後には, 「さっそく皿洗いに使ってみます!」「ぼくも何か作ってみようかな」という声も聞こえ, 使えるものは買わずに作る・再利用する大切さを感じている様子でした。

委員会活動では, 子供たちから「地域をきれいにしたい」という声があがったので, 今年は環境委員会の初の取組で地域の清掃活動を行いました。また, ポスター制作やプランターの花植えなどを通して, 資源の無駄遣い防止や環境保全を全校へ呼び掛けることで, 使う分だけ水を出したりごみを分別して捨てたりと考える行動する姿が多く見られるようになってきています。

本校は, 周りは田んぼに囲まれ, 小さな公園がいくつもあり, 学校内に畑もあるなど, 恵まれた環境の中にある学校であると感じます。その環境を最大限に生かして, 子供たちが身近な環境の問題・課題に目を向けたり, 動植物に興味をもったりすることのできる取組を今後更に深めていきたいと思ひます。